

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2022

8

NO.840



ピックアップ 第50回あつま田舎まつり

特集 高めよう防災力

ひとのうごき

人口 4,411人 (+15)
男 2,225人 女 2,186人

世帯数 2,146世帯 (+12)

令和4年7月31日現在 ()内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3-5 第50回あつま田舎まつり
- 6-7 災害に備えて高めよう防災力
- 8-11 町からのお知らせ
 - 12 新型コロナウイルス感染症に関する支援制度
 - 13 ローカルベンチャースクール
- 14-16 まちの話題
 - 17 防災のページ
 - 18 厚高インフォ／よりみち通信
 - 19 地域おこし協力隊
- 20-21 保健の掲示板
 - 22 健康情報
 - 23 子育て支援センター
まちのアイドル
こぶしの湯あつま
- 24-25 将来の夢／情報ひろば
- 26 ATSUMA LOVERS

6月29日～7月31日届出分

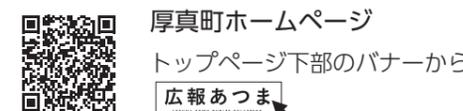
※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のパナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



COVER

今月の表紙



上厚真中央公園の噴水広場は、子どもたちの人気スポット。青空が広がった7月19日は、水遊びを楽しむこどもの歓声が響きました。

友人と水をかけ合ったり、洋服を着たまま寝転んだり。上半身裸で無邪気に走り回る姿もありました。

第50回

あつま田舎まつり

第50回あつま田舎まつり(実行委主催)が7月30、31日の両日、厚真市街地で開かれまし
た。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催です。
恒例の「田舎まつり音頭パレード」は感染症対策で中止されま
したが、会場には2日間で延べ
約1万5千人が来場し、終始
町民の笑顔や歓声に包まれま
した。

会場は、表町公園と歩行者天国として開放された隣接する表町中央通り。入退場ゲートを設けて来場者の健康状態などをチェックし、飲食以外はマスクの着用を促して感染防止対策を講じました。

会場では両日、名物の草原焼きや歌謡ショーなどのステージ

アトラクションが行われ、家族連れなどが厚真の味覚やイベントを満喫。30日には夜空を焦がす花火大会もあり、来場者は音と光のページェントを楽しみました。
また、あつま田舎まつりに尽力があった9団体に感謝状が贈られました。
節目の祭りは、天気の良いすがすがしい空の下、31日は、前日の曇り空とは打って変わり快晴で、うなぎ上りに気温は上昇。昼過ぎには今季最高の31.5度の真夏日を記録しました。出演者や来場者は、水分を補給しながら「真夏の太陽」と向き合いました。





第50回あつま田舎まつり開催にあたり
ご寄付・ご協賛にお礼申し上げます

厚真町田舎まつり実行委員会

町外寄付▼ 岩田地崎建設株式会社、株式会社I・TECソリューションズ、デザイン設計株式会社、パブリックコンサルタル株式会社、株式会社北海道朝日航洋、新栄クリエイト株式会社、株式会社西村建築設計事務所、株式会社朝日工業社北海道支店、株式会社シン技術コンサル、株式会社日本工房、北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所、共和コンクリート工業株式会社、株式会社タナカコンサルタント、株式会社信和、道路建設株式会社本店、国策機工株式会社、岩倉建設株式会社、株式会社、菱中建設株式会社、山本浄化興業株式会社、西田司法書士事務所、有限会社鶴川衛生社、株式会社アトリエアク、盛興建設株式会社、株式会社開発工営社、北海道サニックス環境、苫東石油備蓄株式会社苫小牧事業所、株式会社新興電気、株式会社尾崎測量設計事務所、株式会社社渡辺建築設計札幌本店、清文堂印刷株式会社、(有)花よし鶴川店、株式会社山口工業所、トキワ地研株式会社、株式会社新興工業、株式会社成友設備、株式会社大東建設、株式会社Jプロモーション、新日本海フェリー(株)苫小牧支店、株式会社苫東、中山建設株式会社、丸彦渡辺建設株式会社、さくら佐藤建設株式会社新本店、北紘建設株式会社、富士建設株式会社、アサヒコンサルタント株式会社、株式会社補償セミナリー、株式会社山越組、株式会社遠藤組、ケイセイマサキ建設株式会社、長尾工業株式会社、パシコン技術管理株式会社、幌村建設株式会社、株式会社道央環境センター、(株)シヨウエイ北海道札幌支店、株式会社日水コソ北海道支所、住拓工業株式会社、株式会社伊藤測量事務所、北海土建工業株式会社、株式会社勝田組、道栄建設株式会社、勝幸辰建設株式会社、株式会社ヒューシステム、株式会社大建設札幌事務所、一般財団法人北海道電気保安協会苫小牧支部、パナソニックコネクト株式会社、(株)共立測量設計、武部建設株式会社三笠事務所、三井物産フォーサイト(株)、株式会社CSS、千歳印刷(株)、株式会社ベースクリエイト、合同酒精株式会社苫小牧工場、株式会社マテック苫小牧支店、(有)北海道パークシステム、株式会社C&R、(株)北海道クボタ、株式会社西島製作所、株式会社とませい、株式会社エム・エム・ピー、(株)東京エネシス、(株)Smile1000、公益社団法人苫小牧地方法人会

町内協賛▼ (有)武山工務店、あつまクリニック、(株)木村商会、森田産業(株)、まこと商事、(株)今多建設、(株)佐々木重機工業、(有)沼田重機、(株)佐藤組、北海道パワート

ジニアリング(株)、(株)山岡建設工業、苫小牧広域森林組合、(株)丸博野沢組、(株)金合造園、北辰公業(株)、(有)市原精肉店、(株)繁富工務店苫東厚真事業所、厚真町土地改良区、厚真町商工会、厚真町農業委員会親睦会、厚真町教育委員 日西大介、厚真町教育委員 池川徹、厚真町教育委員 金光えり、厚真町教育委員 長門茂明、厚真町副町長 西野和博、厚真町教育委員会 教育長 遠藤秀明、厚真町役場課長会、厚真町役場職員親睦会、ハッピー調剤薬局、(有)小寺電気、(有)三國電機商会、(株)中川商店、(有)東電機商会、高田旅館、岡部薬局、潮騒、みたに美容室、(有)山田商店、高寿司、苫小牧信用金庫厚真支店、(有)藤井商店、(有)藏重自工、桂歯科クリニック、長谷川写真館、(株)ケーエス厚真店、厚真歯科、(有)木本建設、(株)厚信電機、(有)新星自動車整備工場、江戸っ子、(有)厚真燃料、(有)講神組、(有)梅原商店、とまこまい広域農業協同組合厚真支所、(有)坂本商事(厚真園)、JAとまこまい広域厚真地区役員親睦会、(有)厚真公益社、ぼん理容院、あつまバス(株)、有限会社斉藤石材、厚真オートサービス(株)、(有)森本工務店、ドライブイン本郷、(有)厚真ファーム、苫小牧民報社厚真支局、厚真ライオンズクラブ、(株)曾我造園、(有)斉藤水産、佐藤新聞店、穴田米穀店、瀬戸商店、折坂商店、(有)小川商店、大浦木工場、(有)中島自動車整備工場、上厚真自動車整備工場、さとう理容院、(有)西鶴産業、苫東コールセンター(株)本店事業所、北海道電力(株)本店、北海道農材工業(株)、(有)岩筋砂工業所、鶴川漁業協同組合、ノムラ産業(株)、(有)藤江産業運輸、(有)富士工業、(株)丸斗工業、日本ホワイトファーム(株)札幌事業所食品工場、(有)丹羽林業、(株)中セキ北海道厚真営業所、名張板金加工所、(有)ペイント&メタルワーク矢倉、佐々木商店、(有)手嶋板金工業(株)あつまスタンプ会、Aコープ上厚真店、寒露、北電興業(株)苫東事業所、GSTスタジオ大岡、M・Aサービスタ株式会社、道新藤井販売所、テナール株式会社、食空間ゆるり、Ouf、(株)オートリペアナスノ、スナックSAKURA、Animal total care HAYA、株式会社あつまらう、tacoo surf、Web工房SAKURA、若永板金店、エア・ウォーラー、ライフソリューション(株)、かまた木炭、(有)村井塗装店、オフィスあつぷろーど、吉岡塗装店、(株)エフティファーム、昌運工業(株)北海道支社苫東厚真事業所、太平電業株式会社、(株)大東工務所苫小牧事業所、苫東共同港運倉庫(株)北電事業所、キムラエンジニアリング(株)苫小牧事業所、Taniko leather、パン工房Chirin、かねなか中島食堂、クスリのウエダ、有限会社ゆきやの里、TREASURE TRADING(有)、あつまルーラル整体院、スナックROSE、めぐみ水産、ハスカップシュガー、山信寺坂フーズ、西筈馬場、株式会社知熊屋、マドラー株式会社、UNVELL株式会社、(株)伝平さんの畑、手づくりグループあつまらう、MARUTOKU、暮らご(有)、株式会社東胆振グリーンファーム、株式会社フードサイクル、今登代子、Dino旅館、株式会社エーゼロ厚真、(一社)厚真町観光協会(順不同、敬称略)

町総合防災マップを活用してください！

今春「厚真町総合防災マップ」を刷新しました。
町総合防災マップは、いざという時に備える「手引き」です。



- わかりやすくするため、住宅地図を用いました。
- 公共施設や学校、公園など、災害種別に応じて開設される避難施設を表示しています。
- 警戒レベル情報や避難行動ガイド、備蓄品や非常持ち出し品、地震や火山・津波対策などを図表で解説しています。
- 冊子のほかに、壁などに貼って日ごろから確認できるように、「洪水・土砂災害」と「津波」の2種類のハザードマップも添付しました。
- 町ホームページで公開しているウェブ版は、スマートフォンなどでも閲覧できます。

防災マップの勉強会

6月以降、町は5回にわたり町総合防災マップの勉強会を開きました。防災担当者が地域に出向いて概要を説明し、災害に対する事前の準備や情報収集の方法、避難行動など、町民の皆さんとの意見交換を通じて、連携強化を図っています。

6/1 浜厚真地区

約10人が参加しました。水害時や想定される津波被害などについて理解を深め、避難路や避難経路などについても情報を共有しました。「津波警報」が発令されたら「すぐ避難」することなどを確認しました。

6/22 幌内自治会

17人が参加しました。自治会からは「日高幌内川の危険度合いが分からず、避難のタイミングに不安がある」と質問が投げかけられました。町は「早めに情報を提供し、自主防災組織と連携しながら、早めの行動に移せるよう適切に対応したい」と伝えました。

6/27 朝日自治会

12人が参加しました。自治会からは「樽前山の噴火による農作業への影響が知りたい」と質問が出され、町は「火山灰は、粒子が細かくガラス質なため農作物に強固に付着し、収穫作業や農作物への影響が懸念されます」と説明しました。

6/29 厚真市街地地区

11人が参加しました。出席者からは「6月24日に町内に発令された洪水警報で、影響はあったのか」と質問が出されました。町は「警報は発令されましたが、被害はありませんでした。結果として空振りになるかもしれませんが、早めに防災・避難情報を発信します」と答えました。

7/6 上厚真地区

10人が参加しました。参加者からは「洪水の想定浸水深をもう少し詳しく知りたい」「樽前山噴火時の警戒レベルを教えて欲しい」とリクエストが出され、担当者が補足説明しました。参加者の中には、持参したスマートフォンで町総合防災マップのウェブ版を確認する人もいました。



！ ご注意を！

町総合福祉センターは
避難所にはなりません

町総合福祉センターは今後、公的支援を迅速かつ適切に行う防災関係機関との災害対応活動拠点になるため、避難所にはなりません。

災害に
備えて/
高めよう

防災力



町では各種災害を想定して町民の皆さんに防災意識の啓発を図っています。

「自助」「共助」「公助」の連携強化を！

自然災害による被害を少しでも減らすためには、一人ひとりの行動や地域内での協力が重要です。「自助」「共助」「公助」の連携を深め、地域の防災力を高めていきます。

自助 自分の命は自分で守ること

自宅の耐震化や家具類の転倒防止、災害情報の収集、飲料や食料の備蓄など、災害発生時だけでなく、日ごろの対策も必要です。

また、家族で防災会議を開いて家の中で一番安全な場所や家族内での役割分担、避難場所や避難経路を確認、連絡手段を事前に決めるなど、情報を共有しておくことが大切です。

共助 地域やコミュニティが協力して助け合うこと

災害時は地域住民同士の助け合いが大切です。日ごろから自治会や自主防災組織による避難計画の策定や防災訓練の実施、要配慮者への支援など、地域ぐるみの取り組みは欠かせません。

町内では、平成30年北海道胆振東部地震以降、33自治会のうち8自治会で自主防災組織が設立され、そのうち7自治会が避難計画を策定しました。これらの活動が、地域の防災力を底上げします。自治会には、住民説明会などを通じて自主防災組織の拡充をお願いしています。

公助 役場や消防、警察、自衛隊、北海道などによる公的支援

備蓄品の整備や管理、人命救助、復旧、復興、自助や共助への支援などを行います。各種災害関連情報の速報や指定避難所、指定緊急避難場所の運営など、多岐にわたります。町民の皆さんとの共同・連携が、防災力を高めるカギになります。

推奨される避難行動の確認を！

いざという時にどういった行動をとるのかを確認しておきましょう。

避難の必要性確認

自宅のある場所は、災害時にどのような危険があるのかをハザードマップで確認しておいてください。危険がなければ、避難場所へ行く必要はありません。

避難のタイミング

避難情報と避難行動を確認しておいてください。
高齢者等避難 ▶ 避難に時間がかかる高齢者、障がいのある方等は避難してください。
避難指示 ▶ 全員避難してください。

多様な避難

近年、「多様な避難」が提唱されています。避難先は、指定された避難場所や避難所だけでなく、安全が確認されている親戚・知人宅やホテルなども事前に確認しておいてください。

自己防衛の感染対策

公共施設などに避難する際、自己防衛のために予備を含むマスクや消毒液、体温計などをあらかじめ準備し、避難場所で感染対策を講じてください。

車での避難

車で避難する場合は、危険を避けるため早めに行動してください。危険な状態の中では避難せず、安全確保に万全を期してください。

子育て世帯生活支援特別給付金 北海道子育て世帯臨時特別給付金

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が急変した子育て世帯へ給付金を支給しています。

対象者

- ①令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税の方
 - ②令和4年3月31日時点で18歳未満の子(障害児は20歳未満)を養育しており、次のいずれかに該当する方
 - (1)令和4年度分の住民税均等割が非課税の方
 - (2)新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、住民税非課税相当の収入となった方
- ※令和4年4月以降から令和5年2月28日までに生まれる新生児も対象
 ※子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を受け取った方は除く
 ※給付申請には、税の申告が必要です。

支給額

国の給付金：児童1人あたり一律5万円
 北海道の給付金：児童1人あたり一律1万円

申請・支給

- ・①の公務員以外の方…7月15日(金)に支給済み。
- ・①の公務員の方と②の(1)の方…郵便でお知らせと申請書を送付します。
- ・①の公務員の方と②の方は申請が必要ですので、申請書に振込先口座等を記入し、必要書類とともに窓口に持参または郵送で提出してください。
- ・申請書は、住民課子育て支援グループ、上厚真支所で配布のほか、町ホームページからもダウンロードできます。

受付期間

令和5年2月28日(火)まで

北海道胆振東部地震から4年を迎えるにあたり

総務課 総務人事グループ ☎ 27-2322

追悼式、黙とう、メッセージ放送を行います。また、献花台を設置します。

北海道胆振東部地震厚真町追悼式

日時▶9月3日(土)
 式典：10時～11時30分
 (遺族・一部来賓のみ)
 自由献花：13時～15時

場所▶総合福祉センター1階大集会室

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、式典はご遺族および一部のご来賓のご参列のもと開催させていただきますが、午後からは自由献花となります。
- ・香典、供物などをご遠慮ください。
- ・献花用の花は、会場に用意します。
- ・マスク着用を含め咳エチケットのご協力をお願いします。
- ・体調不良や風邪症状がある方は来場をお控えください。

黙とう

日時▶9月6日(火) 正午から
 ・消防サイレンに合わせ黙とうをお願いします。
 ・火災と間違えないようにお願いします。

町長メッセージ放送

防災行政無線
 日時▶9月6日(火)12時20分(再放送…同日20時)

献花台の設置

- ①役場本庁舎玄関(京町120) ※常設しています
 - ②吉野地区(吉野生活会館跡地：吉野19-1)
 設置期間 9月3日(土)～9月6日(火)終日
- ・供物はカラスやクマなどの野生動物のエサとなりますので、必ずお持ち帰りください。
 ・交通事故に十分注意してください。

不妊治療の町助成制度が変わりました

住民課 健康推進グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

4月1日より不妊治療費が保険適用となったことを受けて、町の助成制度が変わりました。

助成対象

健康保険が適用となる一般不妊治療(人工授精など)および生殖補助医療(体外受精、顕微授精など)などの治療費用のうち、自己負担分について助成します。
 ※年齢・回数制限、所得に応じた助成の上限があります。

詳細は、町ホームページでご確認いただくか、住民課健康推進グループにお問い合わせください。



子育て世帯の賃貸住宅家賃の一部助成制度が変わりました

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

賃貸住宅に入居している子育て世帯に家賃の一部を助成します。公営住宅も対象になりました。

対象世帯

- 次のすべてに該当する世帯
- ①18歳までの子どもがいる世帯
 - ②町内の賃貸住宅に入居している世帯(子育て支援住宅、月額家賃48,000円以下を除く)
 - ③世帯の合算所得が5,844,000円以下の世帯
 - ④町税等に滞納がない世帯

助成額

子ども1人あたり月額最大3,000円分(あつまるポイントで還元)
 ※上限は月額家賃から48,000円を差し引いた額に相当するポイント

対象期間

令和4年4月～9月の6カ月分

受付期間

10月31日(月)まで

必要書類

- ・賃貸借契約書等の家賃の金額が確認できる書類
 - ・家賃の納付が確認できる書類(支払領収書や引落口座通帳のコピーなど、6カ月分の支払いが確認できるもの)
 - ・あつまるカード
- ※令和4年1月1日に町外に在住していた方は、住所のあった自治体が発行する所得証明書および町税等の滞納がない証明書が必要です。

受付窓口

住民課子育て支援グループ、上厚真支所

高校生の通学費等助成

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町外の高校に通学する生徒の保護者に対して、通学費などの一部を助成します。

対象者

町外の高校(高等専門学校は1～3年生)へ通学または下宿などを行っている生徒の保護者
 ※町内在住の保護者に限る

助成額

月額5,000円×5カ月分(あつまるポイントで還元)

対象期間

令和4年4月～9月の長期休暇1カ月分を除く5カ月分

受付期間

10月31日(月)まで

必要書類

- ・在学証明書(発行日から2カ月以内)または在籍期間証明書 ※卒業証書は不可
- ・あつまるカード

提出先

住民課子育て支援グループ、上厚真支所

胆振東部消防組合消防署厚真支署 ロゴマークを募集

胆振東部消防組合消防署厚真支署 予防係
☎ 27-7119

シンボルマークとして活用するロゴマークを募集します。斬新なデザインをお待ちしています。

募集要項

- フルカラー・単色・モノクロでの使用や、拡大縮小が可能なデザインであること
- データ形式(手書き、デジタルなど)、応募点数、プロ・アマチュア、年齢などは問いません
- 応募1件につき1作品

応募方法

ロゴマークのほか、氏名・年齢・住所・電話番号・デザインのコンセプト(趣旨)を明記のうえ、郵送もしくはメールで送付してください。

応募先

胆振東部消防組合消防署厚真支署 予防係
郵送：〒059-1604勇払郡厚真町錦町47-2
メールアドレス：atsuma.yobou1@gmail.com
※送料など応募者負担です。

※受賞者は、氏名、住所(市区町村まで)、年齢を公表します。応募者の個人情報、作品の選考、選考結果の通知、結果発表、賞品授与以外に使用しません。

受付期間

8月31日(水)まで

選考方法及び結果発表

- 消防署厚真支署の職員が選考して受賞者に結果を通知し、広報あつままで発表します。
- 参加賞のほか、入選者には記念品(ロゴマーク入り厚真消防Tシャツ)と感謝状を贈呈します。

注意事項

- 応募作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)、使用权、商標権、その他一切の権利は消防署厚真支署に帰属し、受賞者は著作権人格権を行使しないものとします。
- 万が一、著作権などの権利に関する問題が生じた場合、すべて応募者の責任とし、消防署厚真支署は一切の責任を負いません。

解体予定の建物を募集しています

胆振東部消防組合消防署厚真支署 警防係
☎ 27-7119

胆振東部消防組合消防署は、訓練に使用する解体予定の建物を募集しています。

胆振東部消防組合消防署厚真支署は、解体予定の建物を活用し、実際の災害現場に近い環境の中で実践的な訓練をすることで、災害対応能力の向上や職員の育成を図ります。

協力いただける事業所や解体業者は、ご連絡をお願いします。



親子料理教室の参加者募集

住民課 健康推進グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

厚真町食生活改善推進協議会が主催する「おやこDEクッキング」の参加者を募集します。

- | | |
|--|---|
| <p>内容 お米と野菜を使った料理とデザートを作ります。献立は、当日のお楽しみです。</p> <p>日時 ①8月27日(土) 10時~12時
②9月17日(土) 10時~12時</p> <p>会場 総合ケアセンターゆくり 2階調理室</p> <p>対象 小学1年生から3年生までのお子さんとその保護者</p> | <p>定員 各5組</p> <p>持ち物 エプロン、三角巾、上靴
※お子さんには三角巾をプレゼントします</p> <p>参加費 無料</p> <p>申し込み 8月19日(金)まで</p> |
|--|---|

トラクターやフォークリフトなどをお持ちの方へ

住民課 税務グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

公道を走らないトラクターやフォークリフトなども課税標識(ナンバープレート)の交付を受けてください。

公道を走らない場合(田畑や敷地内でも、小型特殊自動車は軽自動車税の課税対象です。該当する車両を所有している場合は、軽自動車税の申告をして課税標識の交付を受けてください。小型特殊自動車の課税標識(ナンバープレート)は、軽自動車税の課税物件であることを表す標識です。課税標識(ナンバープレート)の交付を受けていても、道路運送車両法の保安基準を満たしていなければ公道を走ることはできません。

農耕用作業機	その他(農耕用以外)
トラクター、コンバイン 田植機、農業散布車など	フォークリフト ショベルローダーなど
	
最高速度35km/h未満 車体のサイズ制限なし 排気量の制限なし	最高速度15km/h以下 長さ4.7m、幅1.7m、高さ2.8m以下 排気量制限なし

※表の条件に該当しないもので事業に使用しているものは「固定資産税(償却資産)」の申告の対象となります。

課税標識(ナンバープレート)の交付(申告)の際に必要なもの
・販売証明書または譲渡証明書
・車両の情報(所有者と使用者の住所と氏名、車名とメーカー名、車体番号、排気量)

よくある質問

- | | |
|---|---|
| <p>Q1. 公道を走らないから、ナンバープレートをつける必要はないのでは?
A1. 小型特殊自動車は、所有していることで軽自動車税が課税されます。公道走行とは無関係です。</p> <p>Q2. 取得した際にナンバープレートをつける必要はないといわれたが?
A2. 小型特殊自動車は、所有していることで軽自動車税が課税されます。該当する車両を取得、または現在、未申告の車両を所有している場合は、速やかに軽自動車税の申告をして課税標識(ナンバープレート)の交付を受けてください。不申告の場合は「過料(10万円以下)」が科せられます。</p> <p>Q3. 対象になる車両は?
A3. 農耕用の小型特殊自動車は、トラクター・コンバイン・田植機・農業用薬剤散布車などで、乗用装置のあるものが対象です。農耕用以外の小型特殊自動車は、フォークリフト・ショベルローダー・タイヤローラーなどが対象です。</p> | <p>Q4. 車両を買い換えたので、そのままナンバープレートをつけ替えてよいのか?
A4. 車両を買い換えたときは、課税標識(ナンバープレート)も変える必要があります。前の車両の課税標識を返納し「廃車」申告手続きをするとともに、新しい車両の「登録」申告手続きをしてください。</p> <p>Q5. 現在、使用していないのでナンバープレートを返したいのだが?
A5. 小型特殊自動車は、使用していない場合でも、所有していることで軽自動車税が課税されます。車両を廃棄、譲渡した場合に課税標識(ナンバープレート)を返却してください。</p> <p>Q6. 手数料を払うので希望ナンバーを交付してほしい。
A6. 課税標識(ナンバープレート)の管理の都合上、希望ナンバーには対応できませんのでご了承ください。</p> |
|---|---|

飲食店第三者認証取得店舗奨励金

産業経済課 経済グループ
☎ 27-2486

町内外に安心安全をアピールするため、第三者認証制度の認証を取得した飲食店に奨励金を給付します。

- | | |
|---|------------------------------------|
| <p>対象事業者
北海道の第三者認証制度の認証を取得している町内の飲食店</p> | <p>受付期間
12月29日(木)まで</p> |
|---|------------------------------------|

奨励金の額
1店舗5万円

ローカルベンチャースクール

厚真町で起業する人材を発掘するローカルベンチャースクールを開催します。

まちづくり推進課 復興推進グループ ☎27-3179

こんな人を募集します

1 厚真町で起業を目指す人

厚真町を拠点として新規事業を立ち上げる方を募集します。エントリーに年齢や現居住地は関係ありません。

※都市部からの移住が伴う場合は地域おこし協力隊制度の活用が可能です。

※地域おこし協力隊の対象にならない方も、起業に関する補助制度を活用することができます。

2 企業に所属したまま厚真町で活躍を目指す人

企業に属しながら厚真町を新たな拠点として新規事業を開拓する方を募集します。総務省の地域活性化起業人制度の活用を想定しています。

※地域活性化起業人制度は所在地が三大都市圏に所在する民間企業に勤める方が対象です。

エントリー締切 9月30日(金) 18時

- ①QRコードのエントリーフォームから情報を送信してください。
- ②①の送信後に表示されるURLからエントリーシートをダウンロードしてください。
- ③エントリーシートおよび企画書を作成し、Eメールで提出してください。



スケジュール

書類選考

エントリーシートおよび企画書などの提出書類を元に選考します。

選考合宿

11月4日(金)～6日(日)
開催場所：厚真町内

役場職員、メンター(助言者)、コーディネーターが事業プランのブラッシュアップに共に取り組みます。講義などを経て、最終日にプレゼンテーションを行い選考を実施します。



講義を聞く参加者

ブラッシュアップ

選考を通過された方には、最終選考会まで1カ月ほどの時間を使って更なるブラッシュアップに取り組んでいただけます。

最終選考会

12月3日(日)
開催場所：厚真町内

ブラッシュアップしたプランを発表し、最終選考を実施します。最終選考会を通過された方は採択が内定し、地域おこし協力隊制度を活用する場合は、最終合意でその後の条件面のすり合わせを行います。



プレゼンテーション

最終合意

条件面が整った方は正式に地域おこし協力隊として採択されます。令和5年度から厚真町に拠点をもち、事業や業務を開始させてください。

厚真町民の皆さんの参加も歓迎します

地域おこし協力隊制度の活用は、都市部からの移住が条件となりますが、起業に関する町の補助制度の活用は町民の方も対象となります。あなたの中の「あんなこといいな、できたらいいな」という想いを一緒に掘り下げてみませんか？また、起業を考えている方に心当たりがあれば、ぜひ厚真町ローカルベンチャースクールをご紹介ください。

新型コロナウイルス感染症に関する

支援情報

各保険料の減免

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少などの理由で国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料(65歳以上)の納付が困難となった方は、申請により保険料の減免が受けられる場合があります。

・対象者(世帯)

- ①新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡、または重篤な疾病を負った場合
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入など(事業・不動産・山林・給与収入)の減少が見込まれ、次のすべてに該当する場合

〔国民健康保険料、後期高齢者医療保険料〕

- ・事業収入などいずれかの減少額が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上
 - ・令和3年中の合計所得金額が1,000万円以下
 - ・令和3年中の合計所得金額のうち、事業収入等に係る所得以外の所得の金額が400万円以下
- ※10分の3以上の減少が見込まれる事業収入等に係る令和3年中の所得が0円以下の時は、保険料減免の対象外です。

〔介護保険料〕

- ・事業収入などのいずれかの減少額が、前年の当該事業収入等の額の10分の3以上
- ・令和3年中の合計所得金額のうち、事業収入等に係る所得以外の所得の金額が400万円以下

・対象保険料

令和4年4月1日～令和5年3月31日の納期限のもの

・減免額

- ①全額
- ②対象保険料に令和3年中の合計所得金額の区分に応じた減免割合を乗じた額

・申請に必要なもの

申請書、被保険者証、印鑑、医師の診断書など感染した事実が確認できる書類の写し、収入を証明する書類など

・申請期間

令和5年3月31日(金)まで

・申請先、問い合わせ

〔国民健康保険料、後期高齢者医療保険料〕
住民課 町民生活グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

〔介護保険料〕

住民課 福祉グループ ☎26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

厚真町飲食事業者等感染防止対策補助金

新型コロナウイルス感染症の長期化などに対応するため、対面サービスを提供する事業者が、感染防止対策を強化するために購入する備品などについて支援します。

・対象事業者

町内に事務所または住所を有する個人、団体または法人で、次の5項目の要件を全て満たす事業者(前年度に補助上限に達した事業者を除く)

- ①関係法令による許認可等が必要な事業の場合、当該許認可等を取得していること、または取得の見込みがあること
- ②厚真町暴力団の排除の推進に関する条例に規定する暴力団または暴力団員に該当しないこと
- ③町税等の公租公課を滞納していないこと
- ④日本標準産業分類の中分類または小分類において規定されている事業を営んでいること(飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業、飲食店、道路旅客運送業、宿泊業、持ち帰り・配達飲食サービス業、経済団体、洗濯・理容・美容・浴場業、その他の教育、学習支援業、その他のサービス業)
- ⑤業務において対面でのサービスを提供する事業者

・補助上限額

30万円(下限額1万5千円)

・補助率

3/4以内 ※補助金額は千円未満切り捨て

・受付期間

令和5年3月31日(金)まで

・補助対象経費

次の対策に必要な消耗品、備品および修繕等で、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに購入、設置、支払が完了するもの

- ①飛沫感染予防対策…パーティションやアクリル板、フェイスシールドなど
- ②接触感染予防対策…非接触型消毒液自動噴霧器、足踏み式消毒液スタンドなど
- ③換気の感染予防対策…空気清浄機、エアコン(換気や除菌機能を有しているもの)、サーキュレーター、加湿器など
- ④健康管理対策…非接触型体温計、サーモカメラなど
- ⑤その他感染防止対策

※他の補助金などを受けている経費は対象外

※備品の導入・設置に伴う送料、設置費も対象

※換気扇・網戸等設備の修繕の費用も対象

※対象経費に該当するかの確認については、事前にお問い合わせください。

・申請窓口・問い合わせ

町産業経済課 経済グループ ☎27-2486



委嘱状を持つ成田さん、島崎さん、水丸さん（左から）

地域おこし協力隊の3人に委嘱状

町は7月1日、地域おこし協力隊の3人に委嘱状を交付しました。

交付されたのは、いずれも協働型で、札幌市出身の成田大輔さん、東京都出身の島崎貴裕さん、新冠町出身の水丸和樹さん。成田さんは町営公共牧場で羊を飼育して乳製品の販売を計画。島崎さんは、自然環境を生かした新たなアウトドア事業を予定。水丸さんは、住民向けの共助サービスの提供を目指しています。

宮坂町長は「皆さんの活躍を期待しています」と激励すると、3人は「皆さんと協力し合って地域づくりに励みたい」と意欲を述べました。



初集荷したハスカップを持ち込む生産者

厚真産のハスカップを初集荷し初競り

厚真産ハスカップの初集荷が6月23日に行われ、翌24日に苫小牧市公設卸売市場で初競りにかけられました。

J Aとまこまい広域によると、今年は103戸が13 tを収穫する予定です。初集荷には、20戸が持ち込んで規格検査を受けました。初競りには169箱(1箱300 g×4パック)が出荷され、特A大1パック300 gで前年より500円高い2,000円の最高値をつけました。宮坂町長は「真心と感謝の気持ちを込めたハスカップを消費者に届けてください」と仲買人にあいさつしました。

地域創生シンポジウム

地域創生実践総合研究所と日本地域創生学会が主催するシンポジウムが7月1日、総合福祉センターで開かれ、約20人が受講しました。

シンポジウムでは、スーパー公務員として知られる元小樽市職員で同研究所の木村俊昭所長が「ひとがキラリと輝けるまちづくり」について講演。木村所長は、①地域の産業や歴史、文化を徹底的に掘り起こす「あるもの探し」でまちを育てる②未来を担う子どもたちに愛着心を持ってもらう人を育てる③子どもたちのころから五感を育みストーリー政策を創発する一ことが大切と説明しました。



まちづくりについて説明する木村所長

木本年幸さんと齊藤泉さんに瑞宝単光章を伝達

長年にわたり厚真消防団で活躍した上厚真地区の木本年幸さんと齊藤泉さんに6月23日、宮坂町長から瑞宝単光章(消防功労)が伝達されました。

木本さんは昭和55年4月から40年にわたり、齊藤さんは昭和33年1月から41年2カ月にわたり厚真消防団に在籍し、いずれも分団長などを歴任。消防団の発展や充実、消防体制の確立に寄与されました。木本さんは「町民の皆さんや家族の支えがあつての受賞。皆さんに感謝いたします」と話し、齊藤さんは「皆さんのおかげで受賞できました。心から感謝申し上げます」と受賞を喜びました。



瑞宝単光章の伝達を受けた木本さん(中央左)と齊藤さん

風力発電の学習会

民間事業者が浜厚真地区に建設を計画している陸上風力発電所に関する町主催の風力発電学習会が、6月30日に地域住民など15人が参加して厚南会館で開かれました。

学習会は、昨年3月に続き2回目。北海道大学大学院工学研究院・地球環境研究室の田鎖順太助教が「風力発電について」のテーマで講演し、風車から発せられる音や低周波などについて説明がありました。参加者からは「人のみならず家畜への影響は」「複数設置される風車同士が共鳴して音などが増幅しないか」などの質問が出されました。町は「自然エネルギーの活用は重要と認識しています。皆さんに事業計画の情報を提供し、課題などについて学んでいきたいと考えています」と説明しました。

浜厚真地区の風力発電計画では現在、令和6年3月予定の環境影響調査(環境アセスメント)の第三段階の準備書に向けて、風況や鳥類等の調査などが行われています。



風力発電について学ぶ参加者たち



内閣総理大臣のメッセージを届けた菅原会長(左から2番目)

社会を明るくする運動

苫小牧地区保護司会の菅原正良会長が7月4日に役場を訪問し、宮坂町長に「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージを伝えました。

訪れたのは、菅原会長と同保護司会厚真分区の大橋正治分区長、中村昇洋副分区長で、活動への理解と協力を代読。宮坂町長は「一人ひとりの問題は、地域の問題でもあります。皆さんの積極的な活動をお願いします」と話しました。



防災のページ

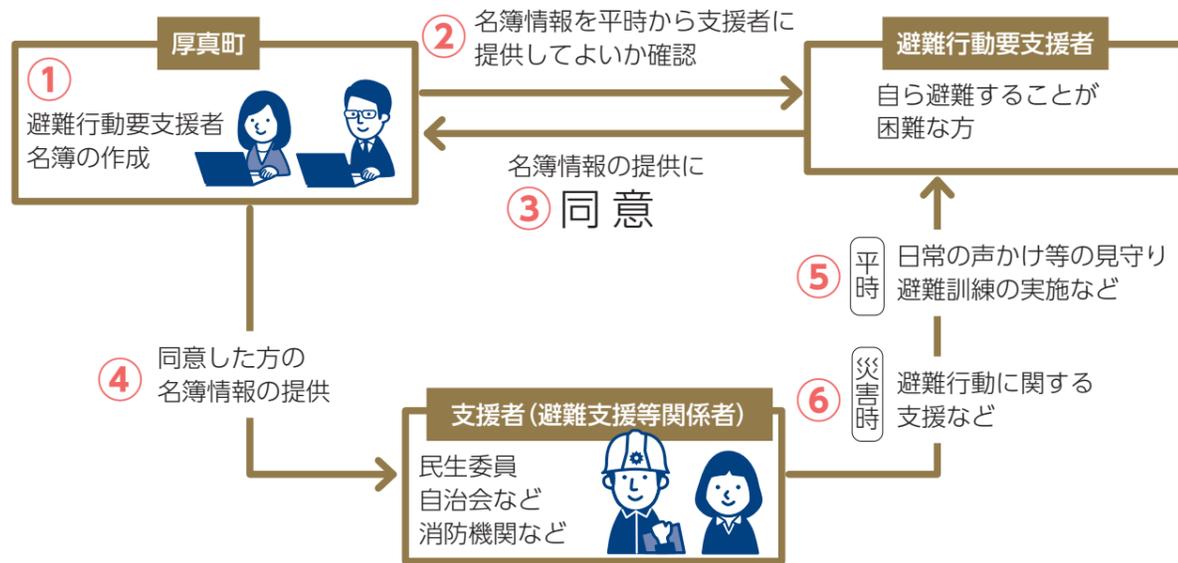
問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

避難行動要支援者名簿と 個別避難計画について

避難行動要支援者名簿について

平成25年6月に災害対策基本法が一部改正され、市区町村で「避難行動要支援者名簿」の作成が義務化されました。大きな災害が発生または災害が発生のおそれがある場合に、自力避難が難しい方を支援するため、事前に登録した名簿情報を関係機関で共有します。

名簿は、あらかじめ避難支援を行う自治会や自主防災組織、民生委員、消防機関、警察などに提供して、災害時の安否確認や必要な避難支援などに役立てます。



避難行動要支援者名簿の記載事項(例)

- 氏名
- 生年月日
- 性別
- 住所または居所
- 電話番号またはその他連絡先
- 避難支援等を必要とする事由
- そのほか町長が必要と認める事項

- 基本的に名簿情報は、避難行動要支援者本人が同意された方のみ提供されます。
- ただし、生命または身体を災害から保護するため、大きな災害が発生または発生するおそれがあり緊急を要する場合には、本人の同意の有無にかかわらず、避難支援の関係者等に名簿情報を提供する場合があります。

個別避難計画について

「個別避難計画」は「避難行動要支援者名簿」の提供に同意された方のみ作成します。一人ひとりの避難支援要領などをより具体的に計画・作成して、安心・安全な災害時の避難を目的としています。

個別避難計画は、町、本人とその家族、避難支援等関係者（自治会、自主防災組織、民生委員など）および介護支援専門員などが連携して作成します。信頼関係を醸成しつつ、地域の特性を踏まえて最善の避難計画にします。



目録を贈る住拓工業株式会社の瀬尾会長

住拓工業株式会社が町に寄付

苫小牧市の住拓工業株式会社は7月5日、町に100万円を寄付しました。

3年ぶりの開催となる「第50回あつま田舎まつり」などに役立ててもらい、町民に元気になって欲しいとの思いが込められています。苫小牧厚真会会長で同社の瀬尾清会長は「町長をはじめ、町民の皆さんが一丸となって力強く、復旧・復興を進めてください」と語り、宮坂町長に目録を贈りました。

株式会社クーバル（本社・大阪府）の井上善博・代表取締役会長兼社長が、町に人材派遣型の企業版ふるさと納税として267万円を寄付し、同社の関西葵さんを町に派遣しました。

人材派遣型の企業版ふるさと納税制度は、民間企業の社員を地方自治体に派遣して地域社会に貢献する制度。人件費を含めた事業相当費用を企業版ふるさと納税として寄付し、地方創生の取り組みを推進します。

地方自治体としては、人件費を負担せずに専門性の高い人材を受け入れることで主要なプロジェクトが推進できる一方、企業にとっては人件費相当額を含む事業費を寄付することで最大9割の税の軽減が受けられるなど、双方に利点があります。

関西さんは、7月1日からフルタイム会計年度任用職員（介護予防推進員）として、住民課福祉グループで勤務し、介護予防など福祉・健康分野の事業を担当します。

株式会社クーバルが町に 企業版ふるさと納税(人材派遣型) 事業費を寄付



目録を手渡す株式会社クーバルの井上会長と町に派遣された関西さん



のぼり旗を掲げて街頭啓発に臨む参加者たち

夏の交通安全運動で街頭啓発

町交通安全推進委員会は7月13日、厚真市街地の交差点で夏の交通安全運動セーフティコールを行いました。

重点目標は、飲酒運転の撲滅、バイク・自転車の事故防止、スピードダウンと全席シートベルトの着用、子どもと高齢者の交通事故防止です。町内の事業所や団体など総勢100人が参加し、交通安全旗などをなびかせて通過車両に安全運転を呼びかけました。



▼全道壮行会・全道大会(6月中旬)

6月10日に陸上同好会(兼本光塾君、中島愛梨さん)の壮行会を実施しました。釧路市民陸上競技場で13日に行われた北海道高等学校陸上競技選手権大会に出場し、中島愛梨さんが女子円盤投げ(10kg)で3位に入賞し、インターハイ出場を決めました。全国高等学校総合体育大会は8月3日、徳島県



7日、徳島県「鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム」で行われました。▼キャリア教育講演会(6月17日)「卒業生の体験談」に代わる企画として実施しました。(株)伝平さんの畑の菅原文子さん・近藤一郎さん、(株)コンサドーレの山田雅志さんをお招きして、業界で活躍されている方々から体験談を聞き、働くことの苦労や喜びを知る機会にしました。▼防災避難訓練(6月24日)校内放送の避難命令で、全校生徒

が体育館に避難しました。清水校長は「練習のための練習ではなく、自分はどう動くのか、みんなそろって避難する以外のパターンを考えること」と講評しました。

▼企業説明会(6月29日)

3年ぶりに開催しました。地元企業の情報を収集できる機会として、企業や仕事に対する理解を深めました。6月現在、3年生の就職希望者は22人、進学希望者は6人です。

▼防犯・薬物乱用防止教室(7月1日)

苫小牧警察署生活安全課から西村さん、鈴木さんを講師に招き、最近の犯罪の傾向や被害に遭わないための留意点などを学びました。また、薬物乱用の恐ろしさや正しい知識を深め、薬物などから身を守る大切さを実感しました。

▼学校祭に向けた全校集会(7月1日)

学校祭準備期間(7月4日～11日)を迎えるにあたり、生徒の意識の高揚を図るための集会です。生徒会の代表生徒が、準備期間中の諸注意を説明。各クラスの決意表明では、HR展示やクラスパフォーマンスのPRがありました。



農業支援員
なかの ゆういち
中野 佑一さん

着任: 令和4年4月
出身: 苫小牧市

—これまでの経歴について教えてください。

北海道工業大学(現北海道科学大学)を卒業後、半導体の集積回路関連の製造や建築用ウィンドウフィルムの試作品の製造、農機具や産業用減速機などの営業職を経験してきました。趣味の自動車を仕事にしたい思いもあり、修行の意味も込めて仲間の中古車販売業の手伝いをしましたが、趣味を仕事にすることの難しさを知りました。

—農家になろうと思ったきっかけは?

農機具メーカーのクボタに勤めていて、農業が身近になり、仕事としての農業に興味を持ちました。自分が持っている知識とスキルが農業で生かせると思い、農業がやりたいと決心しました。農業人口が減少している中で、新規就農者への支援が手厚く、事業が拡大できる可能性を感じていることも農業を志した理由の一つです。

—農家になるためにどのようなことをしていますか?

研修農場では、農業の基礎知識のほか、ほうれん草やイチゴ、カボチャの栽培などを体験しながら農業技術を学んでいます。また、先輩の研修生と同行して種まきや田植え、草刈り、収穫など、地域の農家さんを手伝いながら顔を覚えてもらえるようにしています。

—厚真町の印象はありますか?

ほかの地域から移住してきた人に対して、優しくしてくれるおらかな雰囲気が好きで、とても住みやすいです。厚真町を選択して良かったと思っています。

—3年後の目標を教えてください。

両親は、私が農家になることに賛成し、忙しいときは手伝うと言ってきていて心強いのですが、まずは一人で限界までほうれん草栽培にチャレンジしたいと考えています。そのためには、栽培技術を磨くことが大切だと考えています。また、就農後は、周囲の農家さんからアドバイスを受けながら、高品質で収量のある栽培方法を確立したいと思っています。回転率が上がるように効率化を図り、安定的な農業経営を目指したいですね。なるべく早く軌道に乗せ、近くで支えてくれるお嫁さんを探したいと思っています。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

現在活動している協力隊(7月末現在)

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷15人



農業支援員
わたなべ かずや
渡辺 和弥さん

着任: 令和4年4月
出身: 埼玉県狭山市

—これまでの経歴について教えてください。

埼玉県出身です。大学時代の先輩の紹介で松本市役所へ入職し、非常勤職員として2年間勤務後、採用試験を受けて埼玉県入間市役所の職員として医療関係の部署で7年間、障害者福祉関係の部署で4年間勤務しました。

—農家になろうと思ったきっかけは?

あまり身体が強い方ではなく、アレルギー症状で肌に発疹などが出る場合があります。体質の改善を図るためには食べるものが重要と捉え、安心な野菜を自分の手で作りたいたいという思いから農家を目指すことにしました。

—どうして就農先に厚真町を選んだのですか?

妻の出身地の長野県で就農する選択肢もありましたが、北海道には憧れがあり、農業をやるなら北海道でやりたいと思っていました。妻が「北海道以外で就農しても、心のどこかで北海道への気持ちが残ると思う。だったら

北海道で挑戦してみよう!」と背中を後押ししてくれました。空港も近く、移住後も帰省に便利なこともあり、厚真町に決めました。

—厚真町ではどのようなことをしていますか?

研修農場で、ほうれん草やイチゴの栽培をしながら農業について学んでいます。先輩の研修生と一緒に農家さんのところで米の種まきや田植えを行いました。地域の皆さんに少しでも顔を覚えて欲しいので、家族3人で積極的にイベントへ参加しています。

—厚真町の印象はありますか?

移住者に対して、ウェルカムな雰囲気を感じています。まだ冬を経験していないので、寒さに対して怖さ半分、楽しみ半分という感じです。町内の子どもたちは大きな声で元気にあいさつしてくれます。子どもたちは、さまざまな活動に積極的に参加していて、厚真町の未来を作る担い手としてとても心強い存在に感じました。

—3年後はどうしたいですか?

我が家の農業形態は、家族経営で確実に人手不足となるため、いずれは前職の福祉でのキャリアを活かして、農業と福祉で連携して就労支援の場や子どもの農業体験の場として提供するなど、地域活動の活性化にもつながら人手不足を解消していけるような農業を築きたいです。

よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。

よりみちプロジェクト

一気に気温が上がリ、ハスカップ狩りのシーズン到来。僕も先日、初めてハスカップ狩りを満喫してきました。木によってハスカップの味はさまざまで、酸っぱい実に出会ったり、甘い実を見つけたり。農園の中は、まるで宝探しでもしているかのよう

に色々な味に驚く人たちの楽しそうな声が響いていました。公営塾では最近、生徒の興味関心に基づいて好きなことを継続的に学んで楽しむ「よりみちプロジェクト」をはじめました。僕たちスタッフが提案したのは、ラジオプロジェクト、キャンププロジェクト、バイク修理プロジェクト。ですが実際、生徒のアンケートや声を聞くと、驚くようなプロジェクト案がたくさん寄せられました。韓国語プロジェクト、創作プロジェクト、激辛プロジェクト!? 3年生がメインのバンドプロジェクトは、7月の文化祭でステージを飾りました。

「よりみちプロジェクト」では、疑問を感じた生徒たちが理解を深めるために自発的に地域に出て聞き歩き、調べる体験をしてもらうつもりです。さまざまな歴史をもった厚真町の人や風土に触れながら、高校生たちが動き始めます。今度はどんな味だろう。酸いも甘いも、高校生の本気の挑戦の一つひとつを、ハスカップ狩りのような宝探しの時間に変化させていきたいと考えています。

教育魅力化支援員 加藤 千昇



実ったハスカップに興味を示す厚高生



こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト 
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生で3回 (2回目)2カ月以上あけて2回 (3回目)1回目から6カ月以上あけて1回

9月の日曜・祝日当番医 診療時間: 9時～17時

日程	診療科	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
4日	内科系	吉川医院	表町5-2-3	34-4565
(日)	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111
11日	内科系	苫小牧澄川病院	澄川町7-9-18	67-3111
(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
18日	内科系	うとないキッズクリニック	北栄町1-22-36	53-8080
(日)	外科系	苫小牧白翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
19日	内科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
(月祝)	外科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
23日	内科系	苫小牧病院	光洋町3-16-4	72-1201
(金祝)	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455
25日	内科系	にっしん内科クリニック	日新町2-6-43	71-1500
(日)	外科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診療を受け付けています。

診療科目	内科・小児科
住所	苫小牧市旭町2-9-2
電話	0144-32-0099
診療時間	平日 19時～翌朝7時 土曜日 14時～翌朝7時 休日 9時～翌朝7時

北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
☎0120-20-8699
☎011-221-8699(携帯・PHSから)



保健の掲示板 9月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)



健診・検診・相談・教室など

1歳6カ月児健診

対象 令和2年11月19日～令和3年3月7日
生まれのお子さんとその保護者
とき 9月7日(水) ※個別にご案内します
ところ 総合ケアセンターゆくり
ところ 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、
歯の健康ノート、歯ブラシ

3歳児健診

対象 令和元年6月23日～令和元年9月21日
生まれのお子さんとその保護者
とき 9月21日(水) ※個別にご案内します
受付 総合ケアセンターゆくり
ところ 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、
歯の健康ノート、歯ブラシ、早朝尿

こころの相談

「気持ちが落ち込む」などのこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に臨床心理士が応じます。



とき 8月19日(金)、9月16日(金)
10時～15時(1人あたり50分程度)
ところ 総合ケアセンターゆくり
申し込み 1週間前までにお申し込みください
(住民課 健康推進グループ)

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談	
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	9月20日(火)
肝炎ウイルス検査	
感染が疑われる方は無料(要事前確認)	9月6日(火)
骨髄バンク登録	
登録の基準があります	9月6日(火) 9月20日(火)
HTLV-1抗体検査	
検査日の20日前までに予約してください	9月20日(火)
HIV検査(エイズ相談)	
無料、匿名検査(要事前確認)	下記に確認
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

新型コロナワクチン

完全予約制です。必ず予約してください。

初回接種(1・2回目接種)

対象 接種日時時点で5歳以上の町民
※5～11歳の保護者への「努力義務」は適用されていません

追加接種(3回目接種)

対象 2回接種を完了した12歳以上の町民

追加接種(4回目接種)

3回目接種を完了した次のいずれかの該当者
①60歳以上の方
②18歳以上60歳未満の基礎疾患のある方
③その他重症化リスクが高いと医師が認める方
④18歳以上60歳未満の医療・高齢者施設等の従事者

※②～④の該当者は、接種券の発行申請が必要です。申請方法など詳しい内容は、ホームページをご覧ください。
※4回目の接種予約は、接種券到着後にご予約ください。



新型コロナワクチン
インターネット予約は
こちらから



小児(5歳以上11歳以下)の方へ

苫小牧市の医療機関でも接種可能です。接種希望の方は、苫小牧市コールセンター(☎0144-82-9660)に電話し、接種券番号を登録してください。登録後、医療機関での接種が可能です。接種会場等詳しい内容は、苫小牧市のホームページをご覧ください。



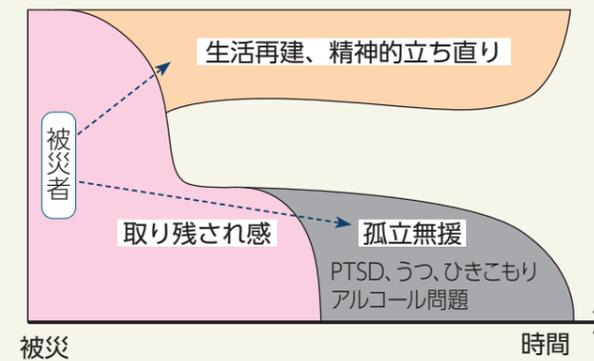
担当
臨床心理士 杉山 効平

今月のテーマ

大きな災害を経験した後の こころの状態の変化と手軽なリラクゼーション法

間もなく、胆振東部地震発生から4年を迎えます。「もうすっかり元気になって影響はない」という人もいれば、「今でもあの日の事がよみがえってくる」という人もいます。そして、あなたは、どんな気持ちで過ごしていますか。今でも辛い思いを抱えていますか。改めて被災後の心理状態の変化や不意に不安を感じた時などに行えるリラクゼーション法をお伝えします。

図1 被災者の回復の二極化
金吉晴(編)「心的トラウマの理解とケア第2版」から出典



中長期の心理的問題
図1にあるように、被災後、大きなショックを受けたころは、時間の経過とともに多くの人が回復に向かいますが、一方、回復に向かわず足踏み状態の人もいます。「こころの復興」は、二極化が生じることが知られています。

- 格差
- ①全体としては
 - ・心の健康を回復
 - ・地域の復興が進む
 - ②負荷が大きかった人
 - ・回復が遅れる
 - ・取り残されやすい

被災後に起こりうる反応

今でも次のような心境になることがありますか？
 ・テレビで地震速報が流れると怖くなりドキドキする
 ・大型車両が通った揺れに、身体がビクッと反応すると怖くなる
 ・思い出させるものに近寄らない
 ・自分だけ楽しい思いをして申し訳なく感じる
 ・言葉では言い表せない悲しみを感じる
 ・「自分は何もできなかった」と無力感が襲われる
 ・妙に気分が高揚する
 ・これらの心境は、大きな災害を経験した後に生じる「当然の反応」です。必ずしも「こころの病気のサイン」ではありません。しかし、苦痛に感じて日常生活に支障が出たり、大量のお酒で気を紛らわしているなどの場合は注意が必要です。
リラクゼーション法を実践しましょう
 呼吸と感情は、深く関係しています。脈拍が自分で制御できないのに対し、呼吸は自分でもある程度調節できます。呼吸は、不安や緊張状態が早くなり、リラックス状態



リラクゼーションのほかに、つらい思いは一人で抱え込まないことが大切です。健康推進グループでは、随時相談を受け付けています。遠慮なくご連絡ください。

ではゆっくりになります。そのため、意識的にゆっくり呼吸することで、心身をリラックス状態に導くことができます。

子育て支援センター 9月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)

※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 すくすく教室

- 内容: お野菜たっぷり♡うまだしめ汁づくり ●日時: 9月16日(金) 10時~11時30分
- 場所: 総合ケアセンターゆくり2階調理実習室 ●定員: 4組
- 持ち物: エプロン、三角巾、手拭きタオル、おしぼり、飲み物、子ども用スプーン・フォーク
- 申し込み: 9月6日(火)まで(各センターへ)

子育て講座 骨盤・肩甲骨ストレッチ

- 内容: 身体をほぐしてスッキリしませんか? ●日時: 9月13日(火) ●場所: 厚南子育て支援センター
- 定員: 7組 ●持ち物: 汗拭きタオル、飲み物、ヨガマット(ある方) ●申し込み: 9月6日(火)まで

子育て講座 おうちパン講座

- 内容: パン作りの実演・パン生地作り ●日時: 9月27日(火)10時~10時30分
- 場所: 厚真子育て支援センター ●持ち物: エプロン、保冷バッグ、保冷剤(生地を持ち帰る時に使用)
- 参加費: 500円(材料費) ●定員: 7組 ●申し込み: 9月20日(火)まで

Hello えいご・えいごであそぼう
10時~10時30分

ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。開催日は情報誌をご覧になるか各センターにお問い合わせください。

- ・自由開放・子育て相談(※要事前連絡)…月曜~金曜日 9時~12時、13時~15時
- ・サークル活動(※予約制)…月曜~金曜日 13時~15時

まちの アイドル



こばやし あみちゃん

みやもと はるときくん

こいずみ いとはちゃん

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。〈メール〉 kikaku@town.atsuma.lg.jp

こぶしの湯 あつま

イベントカレンダー 9月

日	月	火	水	木	金	土
				1 レディース	2 [3倍]	3
4 ちびっこ	5 シルバー	6 [3倍] メンズ	7 高齢者券	8 レディース	9	10
11 ちびっこ	12 [3倍]	13 メンズ	14 高齢者券	15 [2倍] レディース	16 [3倍]	17
18 ちびっこ	19 シルバー	20 メンズ	21 高齢者券	22 [3倍] レディース	23	24
25 ちびっこ	26 風呂の日	27 メンズ	28 高齢者券	29 レディース	30 町民	

毎週日曜▷ちびっこデー:小学生はサービス券2枚
毎週月曜▷シルバーデー:65歳以上はあつまるカードポイント3倍
毎週火曜▷メンズデー:男性はサービス券2枚
毎週水曜▷高齢者無料入浴券の日:町交付の無料入浴券ご利用でヘルシーセットが750円→550円
毎週木曜▷レディースデー:女性はサービス券2枚
最終金曜▷町民の日:誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料
毎月26日▷風呂の日:あつまるカードポイント3倍、サービス券2枚
・2と6のつく日はあつまるカードポイント3倍
・5のつく日は町交付の無料券利用であつまるカードポイント5倍
※イベントは予告なく、変更となる場合がございます。
問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

情報ひろば

「子どもの人権110番」強化週間
 法務局では、子どもの人権についての専用相談電話「子どもの人権110番」を設置しています。いじめや虐待など子どもの人権に関する悩みをご相談ください。
 また、26日(金)から9月1日(木)までは、「全国一斉『子供の人権110番』強化週間」です。期間中は、平日の受付時間を延長して、土曜・日曜日にも対応します。
専用相談電話
 ☎0120-007-110 (全国共通、通話無料)
 ○受付期間：平日8時30分～17時15分(年末年始を除く)
 ○強化期間中の受付時間：平日8

差別など何でもご相談ください。
相談専用フリーダイヤル
 0120-771-208
受付時間
 月曜～金曜日の9時～17時(祝日と12月29日～1月3日を除く)
 ※相談無料で匿名可、秘密は厳守します。
問い合わせ
 公益財団法人人権教育啓発推進センター (☎http://www.jinken.or.jp)
 ※本相談事業は、公益財団法人人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

町税・保険料 今月の納期

科目	固定資産税(第2期)
	介護保険料(第2期)
納期	8月31日(水)

問い合わせ
 住民課税務グループ ☎26-7871
 住民課福祉グループ ☎26-7872

運転免許証 更新時講習

9月

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分～11時
2日(金)、6日(火)、8日(木)、12日(月) 13日(火)、15日(木)、20日(火)、22日(木) 27日(火)、29日(木)、30日(金)
13時30分～14時
5日(月)、9日(金)、14日(水)、26日(月)

(一社)苫小牧地区交通安全協会
 ☎0144-33-1458

まちの善意

厚真町社会福祉協議会への寄付

北海道苦情審査委員制度

日時
 8月24日(水)14時～16時(先着順・予約可)
場所
 ワークプラザとまこまい(苫小牧市表町5-11-5ふれんどビル3階)
対象
 おおむね15歳～49歳の人と家族
対象
 働きたいと思われている人の就労自立支援施設です。就職相談も歓迎です。「働きたい」を応援する無料出張相談会を開催します。
 時30分～19時、土曜・日曜日：10時～17時

提出方法

北海道が行った業務や制度の内容を審査する制度です。皆さん自身の利害に関する苦情であれば、苦情審査委員に申し立てができます。皆さんに代わり、苦情審査委員が公正で中立な立場から、北海道の関係機関に対し必要な調査などを行います。審査の結果、北海道の業務に不備な点や制度に問題がある時は、北海道の関係機関に是正や改善を求めます。個人情報保護にも十分配慮します。

8月は北方領土返還要求運動強化月間

北海道の北東洋上に連なる歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島からなる「北方領土」は、我が国固有の領土です。しかし、ロシアによる法的根拠のない占拠は今なお続いています。私たちが先祖から受け継いできた、かけがえのない土地である北方領土の返還実現は、日本国民にとっての悲願です。四島の一日も早い返還を実現し、この問題を解決するためには、私たち一人一人がこの問題への関心と理解を深め、返還に向けた強い意思を世代・地域を超えて共有することが大切です。



宝くじ いつでも、どこでも。
公式サイト 宝くじをもっと手軽に、もっと便利に!

24時間いつでもネット購入 / お問い合わせ先 | 宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)
 TEL 011-330-0777 (有料)

会員登録はこちら

情報ひろば

女性消防団員募集
 厚真町では、女性消防団員を募集しています。地域防災にあなたの力を貸してくださいませんか。
主な活動内容
 火災予防期間中の広報活動、一人暮らしの高齢者宅に防火指導訪問、保育園児を対象にした防火教室、出初め式への参加、各種訓練や研修への参加など。
 ※火災出動での消火活動は行いません。
入団すると
 年4回の報酬、出動や訓練に参加による手当(年間訓練や演習で8回、会議や査察で4回、広報活動等で4回)、公務災害補償、退職金が支給されます。また、制服等が貸与されます。
応募資格
 ・厚真町在住の18歳以上の方
 ・普通免許をお持ちの方
 ・募集人数4人(※定員になり次第締切)
問い合わせ
 胆振東部消防組合消防署厚真支署(☎26-771-19)
アイヌの方からさまざまなご相談を受けします
 相談専用電話を開設しました。日常生活でお困りのこと、嫌がらせ、



厚真高校陸上同好会
Vol.28 なかじま あいり
中島 愛梨さん

町内にある私設の陸上・投てき競技の練習場。指導者が、教え子のために造りました。若手選手のホームグラウンドです。中島さんは、第75回北海道高校陸上選手権大会(釧路市)の女子円盤投げで3位に入賞し、北海道代表として8月の全国高校総体(徳島県鳴門市)に初出場しました。将来が期待される中島さんに、練習場で話を聞きました。

“ 自己の記録を塗り替え後輩の励みに ”

厚真町出身。3人姉妹の長女で5人家族。小学5年生で陸上チーム「厚真スロイニング」に入り、指導者の勧めで小学6年生から本格的に投てき競技に打ち込みました。「教わることに距離が延びるのが楽しいです。屋外競技なので、天候によって結果が左右される難しさも魅力です」と教えてくれました。体を回転させて投げる「回転投法」で、円盤が手から離れる瞬間に人差し指で回転を与えます。「指の感覚で、良し悪しが分かります。投げ方の精度を上げるため、繰り返し練習するのみです」。

投げる円盤は1kgです。体を回転させるため、円盤を持つ手は遠心力で外側に振られます。手や足の位置、体の軸を安定して保つため、「100回ターン」と呼ばれる回転練習に時間を割きます。また、練習の様子を動画に記録し、納得できた投げ方を見ながらイメージトレーニングも欠かしません。心身共に合わせた自己ベストは、中学3年生だった昨年の35m84。非公式ながら、38m越えを投げたこともありますが、自己ベストの更新が、当面の目標です。

「なぜ、距離が出ないのだろう。調子が出ないと、悩むこともあります。冷静に自分を見つめ直し、一連の動作を振り返ります。上体が反り過ぎたり手が下がったり…。改善点を見つけてみます。「次は、いい記録を出そう」。気持ちの切り替えが早いのも強みです」。

練習の合間に、小ぶりのおにぎりをほおばりました。スタミナの補強です。「お父さんが握ってくれました。美味しいですよ」。満面の笑みを浮かべながら、ペロリと平らげました。家族の協力を感じながら、練習にも力が入ります。

「全国大会で好記録を出し、チームの仲間と一緒に陸上でマチを盛り上げたい」。

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、**ATSUMA LOVERS**